

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教育総務課 学校・地域連携課
	02	02	01	01	01	

政策
未来の創り手に求められる力の育成

政策の内容

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
「生きる力」の習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。	3.04	3.02				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するため、タブレット型端末を効果的に活用した学習指導や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善など、新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領の着実な実施が求められている。
- ・こどもたちの豊かな心を育成するため、多様性に対する理解と自分や他人の人権を尊重する態度を育む「人権教育」をはじめ、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育む「道徳教育」や「文化芸術教育」の充実などに取り組む必要がある。
- ・こどもたちの健やかな心身を育成するため、運動やスポーツを「する、見る、知る」機会の提供を通じた運動習慣の確立や基本的な生活習慣の確立などに取り組む必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	85,771				
決算	84,545				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	0.4				
会計年度任用職員	0.5				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.5				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
教育総合計画推進事業	1 第4次浜松市教育総合計画に基づく施策・取組の推進 第4次浜松市教育総合計画推進会議及び重点施策に係る推進部会を設置し、取組の進捗管理や評価・検証及び改善策等について協議を行う。	1,170
		761
コミュニティ・スクール推進事業	1 特色ある学校づくりの推進 夢育やらまいか事業を実施するため、各学校に設置された夢をはぐくむ学校づくり推進協議会と協定を結び、負担金を交付することで、グランドデザインの具現化に資する教育活動の実施等、特色ある学校づくりを推進する。	85,771
		83,784

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
第4次浜松市教育総合計画に位置付けた取組の進捗率(%)	「計画より進んでいる」「計画どおり進んでいる」取組の割合	計画の着実な推進が、本市の教育の基本理念や目指すことも・教職員の姿の実現につながるものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	93	2026年8月確定				
			達成率	-	-				
夢育やらまいか事業を実施した夢をはぐくむ学校づくり推進協議会への負担金交付率(%)	特色ある学校づくりに向けて「夢をはぐくむ学校づくり推進協議会」へ負担金を交付するもの。	各学校における特色ある学校づくりに寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
特色ある学校づくりが進んだ学校の割合(%)	教育委員会調査において、肯定的な回答をした校長の割合	特色ある学校づくりに向け、校長の意識を把握するものとして設定。制度の周知や運用に関する指導・助言により特色ある学校づくりの充実につながるものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	94	95				
			達成率	-	95%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切にし、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
教育総合計画推進事業	1 第4次浜松市教育総合計画に基づく施策・取組の推進 第4次浜松市教育総合計画の進捗管理、施策の評価・検証を行うため、学識経験者や保護者代表等の参画による「第4次浜松市教育総合計画推進会議策定委員会」2回、重点施策に係る推進部会6回を開催した。	実施した取組に加え、学びの多様化学校の設置及び、市立校の在り方の検討のための協議を行う。
コミュニティ・スクール推進事業	1 特色ある学校づくりの推進 地域や子供の実態に応じた学校ごとの特色ある活動を推進するため、各小中学校に設置する「夢をはぐくむ学校づくり推進協議会」へ負担金を支出した。 ※R7.10.1～学校・地域連携課へ移管	引き続き、「夢をはぐくむ学校づくり推進事業」が特色ある学校づくりを推進するものとなるよう、各学校に指導助言を行う。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(第4次浜松市教育総合計画に位置付けた取組の進捗率) 2025年10月に設置された学校・地域連携課との事業分割により、短期成果(アウトカム)指標が教育総務課所管事業にそぐわないものとなったため、「第4次浜松市教育総合計画推進会議の開催回数」に見直しする。	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(特色ある学校づくりが進んだ学校の割合) 2025年10月に設置された学校・地域連携課との事業分割により、短期成果(アウトカム)指標が教育総務課所管事業にそぐわないものとなったため、活動(アウトプット)指標と短期成果(アウトカム)指標を置き換え、「第4次浜松市教育総合計画に位置付けた取組の進捗率」とする。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

教育総合計画推進事業については、計画どおりに会議を実施することができ、指標の進捗も概ね順調であった。引き続き、毎年度の進捗管理及び施策・取組の評価検証に取り組み、第4次浜松市教育総合計画に掲げた施策・取組の着実な推進を図る。 コミュニティ・スクール推進事業については、家庭、地域との連携・協働を図りながら、目指すこどもの姿の具現化に向けて特色ある学校づくりを推進し、短期成果指標が1ポイント上昇した。引き続き、特色ある学校づくりに学校・家庭・地域が連携・協働しながら取り組むことができるよう支援していく。
--

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		健康安全課
	02	02	01	01	02	

政策
未来の創り手に求められる力の育成

政策の内容

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
「生きる力」の 習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。	3.04	3.02				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するため、タブレット型端末を効果的に活用した学習指導や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善など、新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領の着実な実施が求められている。
- ・こどもたちの豊かな心を育成するため、多様性に対する理解と自分や他人の人権を尊重する態度を育む「人権教育」をはじめ、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育む「道徳教育」や「文化芸術教育」の充実などに取り組む必要がある。
- ・こどもたちの健やかな心身を育成するため、運動やスポーツを「する、見る、知る」機会の提供を通じた運動習慣の確立や基本的な生活習慣の確立などに取り組む必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	50,452				
決算	49,193				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	2.3				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
学校保健衛生事業	1 外部専門家と連携した健康意識の向上 がんに関する講座の周知や外部講師の派遣などにより、がん教育を推進する。	140
	2 生活習慣病の予防 学校医と連携し、定期健康診断結果に基づいて健康に関する理解の促進を図る。	105
・小学校給食事業 ・中学校給食事業 ・学校給食センター管理運営事業	1 食に関する指導に資する教材の活用 リーフレットの配付や活用促進により、食に関する指導の充実を図る。	0
	2 朝食摂取指導に資する教材の活用 リーフレットの配付や活用により、朝食摂取指導の促進を図る。	0
学校安全事業	1 学校における生活安全教育の推進 生活安全に関して自ら適切に判断し、主体的に行動できる資質・能力を育成する。	0
	2 交通安全教育の推進 自ら危険を予測し回避する能力を育成する。 3 防災教育の推進 災害安全に関して地域のリスクを踏まえた実践的な防災能力を育成する。 地域の災害特性に合わせた避難訓練などによる実践的な防災教育の推進を図る。 発達段階に応じた「防災教育ポータルサイト(旧:浜松市版防災ノート)」の活用促進を図る。	0
・児童健康診断事業 ・生徒健康診断事業	1 小学校児童に対する健康診断 学校保健安全法に基づき、健康診断を実施し、児童の健康の保持増進を図る。	50,312
	2 中学校生徒に対する健康診断 学校保健安全法に基づき、健康診断を実施し、生徒の健康の保持増進を図る。	49,088

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
がん教育の実施に伴う講座の周知(校)	がん教育の実施について市立小中学校及び高等学校へ周知するもの。	外部専門家と連携したがん教育の推進とともに健康意識の向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	144	144	144	144	144
			実績値	145	144				
			達成率	-	100%				
食育啓発リーフレットの配付及び活用促進(校)	文部科学省作成の食育啓発リーフレットを市立小中学校へ配付し、活用を促進するもの。	リーフレットの活用促進により、朝食摂取率などの向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	143	143	143	143	143
			実績値	144	143				
			達成率	-	100%				
発達段階に応じた「防災教育ポータルサイト」の活用促進(校)	市立小中学校に対して「防災教育ポータルサイト」の活用を促進するもの。 ※2025年度から運用開始	発達段階に応じた防災教育により、防災意識の向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	143	143	143	143	143
			実績値	-	100				
			達成率	-	70%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
がん教育の実施に伴う外部講師の派遣人数(延べ人数)	がん教育の実施に伴い、外部講師(医師、保健師等)を派遣するもの。	健やかな心身の育成に向け、がん教育の推進を把握するものとして設定。健康意識の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	16	17	18	19	20
			実績値	15	18				
			達成率	-	113%				
朝食摂取率(%)	国の朝食摂取状況調査における児童生徒の朝食摂取率を全国の数値と比較するもの。	健やかな心身の育成に向け、生活習慣を把握するものとして設定。生活習慣の確立につながることを見込んでいる。	目標値	-	97.0	97.5	98.0	98.0	98.0
			実績値	96.1	96.0				
			達成率	-	99%				
学校や学校以外で身の周りに危険なことが起きた(地震や火事など)とき、どのように避難したり、身を守ったりしたらよいか知っていると回答した児童生徒の割合(%)	教育委員会調査において児童生徒の意識を把握するもの。 ※2025年度から調査開始。調査結果を踏まえて目標値を設定予定。	防災教育の育成に向け、児童生徒の認識を把握するものとして設定。防災能力の育成につながることを見込んでいる。	目標値	-	-				
			実績値	-	2026年8月確定				
			達成率	-	-				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	94%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
学校保健衛生事業	1 外部専門家と連携した健康意識の向上 外部講師機関と連携して延べ18人の派遣を実施し、小中学校18校においてがん教育を推進した。 2 生活習慣病の予防 学校医と連携した定期健康診断の結果に基づく保健指導を実施した。	引き続き学校保健衛生事業の充実や、外部講師機関と連携したがん教育の推進を図る。
・小学校給食事業 ・中学校給食事業 ・学校給食センター管理運営事業	1 食に関する指導に資する教材の活用 栄養教諭を対象とした研修会(10月)を実施し、各校の取組における指導内容や教材の共有を行い、各学校での実践につなげた。 2 朝食摂取指導に資する教材の活用 食育啓発リーフレットを小5・中1の児童生徒(約13,000人)へ配付し児童生徒や保護者に対して周知するとともに、各学校で食に関する指導の機会を捉えて、児童生徒への啓発を図った。	引き続き市立小中学校への食育啓発リーフレットの配付や活用により、食に関する指導の充実や朝食摂取指導の促進を図る。
学校安全事業	1 学校における生活安全教育の推進 各学校から提出された事故報告書(校内事故4,734件、校外事故 1,004件)を集計・分析するとともに、主な事故事例を横展開することで校内研修での活用を呼びかけた。 2 交通安全教育の推進 各学校から提出された事故報告書(交通事故163件)を集計・分析するとともに、主な事故事例を横展開することで校内研修での活用を呼びかけた。 3 防災教育の推進 防災教育・防災管理を推進するため、防災リーダー研修(6月)を実施し、避難訓練の課題や予告なし避難訓練について周知した。 また、「防災教育ポータルサイト」の運用を開始し、児童生徒の防災知識の定着と適切な避難行動の理解を促進した。「防災教育ポータルサイト」活用状況アンケートを実施したところ、100/145校で活用しており、活用率は全体の69%であった。	事故報告書の集計・分析を継続し、校内研修での活用を呼びかけていく。 「防災教育ポータルサイト」の活用例を示すなど、防災リーダー研修等において周知を図る。 また、授業や家庭での活用方法や活用事例を紹介し、活用率と実効性を高めていく。
・児童健康診断事業 ・生徒健康診断事業	1 小学校児童に対する健康診断 2 中学生生徒に対する健康診断 学校保健安全法に基づき、健康診断を実施し、児童生徒の健康の保持増進を図った。	法で定められた検査について、適正に実施していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

学校保健衛生事業、児童健康診断事業及び生徒健康診断事業については、事業や指標の進捗は概ね順調であった。引き続き事業改善の内容や今後の方向性を踏まえて事業を継続し、浜松の将来を担う子供たちの健やかな成長や健康で安心な学校生活を送ることができる学校づくりを行う。

小学校給食事業、中学校給食事業及び学校給食センター管理運営事業については、事業や指標の進捗は概ね順調であった。引き続き事業改善の内容や今後の方向性を踏まえて事業を継続し、安全・安心でおいしい給食を提供していく。

学校安全事業においては、「防災教育ポータルサイト」の活用を継続するとともに、活用率向上という課題を解決するため、授業や家庭での活用方法や活用事例を紹介し、活用率と実効性を高めていく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教職員課
	02	02	01	01	03	

政策
未来の創り手に求められる力の育成

政策の内容

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
「生きる力」の 習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。	3.04	3.02				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するため、タブレット型端末を効果的に活用した学習指導や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善など、新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領の着実な実施が求められている。
- ・こどもたちの豊かな心を育成するため、多様性に対する理解と自分や他人の人権を尊重する態度を育む「人権教育」をはじめ、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育む「道徳教育」や「文化芸術教育」の充実などに取り組む必要がある。
- ・こどもたちの健やかな心身を育成するため、運動やスポーツを「する、見る、知る」機会の提供を通じた運動習慣の確立や基本的な生活習慣の確立などに取り組む必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	764,200				
決算	687,504				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	11.0				
会計年度任用職員	2.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
人件費 会計年度任用職 員	小学校に会計年度任用職員を配置する。 1 非常勤講師等 国庫負担非常勤講師(国負担1/3)、国庫補助非常勤講師等(国補助1/3) 市単非常勤講師等 2 パート給食員等 パート給食員、臨時給食員 3 発達支援教室支援員等 発達支援教室支援員、スクールヘルパー 4 学校教育指導支援員等 図書館補助員、学習支援員、複式学級支援員、生徒指導支援員、養護教諭補助員	764,200
		687,504

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教科担任制の充実に資する教員の追加配置(配置計画に対する配置率)(%)	市立小学校における教科担任制実施の充実を図るため、加配教員を配置するもの。	多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を目指した教職員配置により、きめ細かな指導体制に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	配置計画策定	100				
			達成率	-	100%				
はままつ式少人数学級編制実施校への人員配置率(%)	はままつ式少人数学級編制を実施する学校へ必要となる人員を配置するもの。	多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を目指した教職員配置により、きめ細かな指導体制に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
学習支援員、複式学級支援員、理科支援員の配置率(小学校)(%)	市立小学校へ学習支援員、複式学級支援員、理科支援員を配置するもの。	多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を目指した教職員配置により、きめ細かな指導体制に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
全国学力・学習状況調査 小学校6年生正答率(本市平均-全国平均)(pt)	全国学力・学習状況調査における本市正答率と全国正答率を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較にを測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につながることを見込んでいる。	目標値	-	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持
			実績値	国1.3算△0.4	国0.2算±0				
			達成率	-	維持				
全国学力・学習状況調査 中学校3年生正答率(本市平均-全国平均)(pt)	全国学力・学習状況調査における本市正答率と全国正答率を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較にを測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につながることを見込んでいる。	目標値	-	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持
			実績値	国1.9数3.5	国2.7算3.7				
			達成率	-	維持				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することが出来たと回答した児童生徒の割合(%)	全国学力・学習状況調査における本市数値と全国数値を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較に測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につながることを見込んでいる。	目標値	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
			実績値	80.5	80.2				
			達成率	-	99%				
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると回答した児童生徒の割合(%)	全国学力・学習状況調査における本市数値と全国数値を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較に測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につなげていく。	目標値	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
			実績値	80.5	80.2				
			達成率	-	99%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画指標	指標の定義		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標値 2034年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(単位:%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	69.1					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(単位:%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・子どもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。

・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、子どもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
人件費 会計年度任用職員	非常勤講師等549人、パート給食員等44人、発達支援教室支援員等196人、学校教育指導支援員等199人を各小学校の実情や配置基準に基づき適切に配置した。	引き続き学校の実情や配置基準に基づいた適切な配置を行っていく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

学校の実情や配置基準に基づき適切に会計年度任用職員の配置を行うことができ、指標の進捗も概ね順調であった。今後も未来の創り手に求められる力の育成に向けて、会計年度任用職員の適切な配置を行い、児童一人ひとりへのきめ細かな支援体制を整えていく。
--

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教育センター
	02	02	01	01	04	

政策
未来の創り手に求められる力の育成

政策の内容

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
「生きる力」の習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。	3.04	3.02				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するため、タブレット型端末を効果的に活用した学習指導や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善など、新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領の着実な実施が求められている。
- ・こどもたちの豊かな心を育成するため、多様性に対する理解と自分や他人の人権を尊重する態度を育む「人権教育」をはじめ、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育む「道徳教育」や「文化芸術教育」の充実などに取り組む必要がある。
- ・こどもたちの健やかな心身を育成するため、運動やスポーツを「する、見る、知る」機会の提供を通じた運動習慣の確立や基本的な生活習慣の確立などに取り組む必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	348,972				
決算	332,649				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	10.3				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.2				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
教育研究・指導 事業	1 学校訪問 訪問計画に基づき、「はままつの教育」で示した指針の充実・定着を図る。 2 指定教育研究校 教育研究校を指定し、「はままつの教育」の具現化を通し、本市共通の教育課題の解決策を広く周知する。 3 全国学力・学習状況調査 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、継続的な評価・改善のサイクルを確立する。 4 浜松市学力調査 本市の学力や学習状況を把握し、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。 5 運動習慣の確立と体力向上 運動習慣と体力・運動能力の現状を明らかにし、体育・スポーツ活動の指導として広く活用する。	74,482
		71,954
生きた英語力育 成事業	1 外国語指導助手(ALT)の配置 英語の授業を通して、児童生徒の言語や外国の文化に対する理解を深める。英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、小学生・中学生・高校生を対象に、外国語指導助手(ALT)を活用した授業を実施する。	254,423
		241,478
理科・ものづくり 教育支援事業	1 「浜松RAIN房」への負担金交付 理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域ネットワーク「浜松RAIN房」の活動を支援するため、負担金を交付する。	3,000
		3,000
音楽等発表会開 催事業	1 音楽発表会事業 中学生が音響効果の高い会場で演奏発表するため、会場使用料、送迎バス代を負担する。 2 浜松市子どもの市展 幼稚園教育及び学校教育における図画工作科、美術科の指導状況について周知する。 3 子ども音楽鑑賞教室(予算は創造都市・文化振興課) 小学校5年生を対象に、オーケストラの鑑賞と表現の場を提供する。	16,046
		15,423
三遠南信交流推 進事業	1 三遠南信中学生交流事業 三遠南信交流を推進するため、飯田市、豊橋市、浜松市3市の中学生が夏休みに1泊2日で交流活動を実施する。	1,021
		794

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
全国学力・学習 状況調査の結果 に基づいた指導・ 助言 (実施校数)	全国学力・学習状況調査学校質問調査における「生徒の姿や地域の現状等に関する調査、各種データなどに基づき、教育課程を編成して実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立に向けて指導・助言を実施するもの。	データに基づく教育課程の改善により、全国学力・学習状況調査正答率の向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	145	145	145	145	145
			実績値	146	145				
			達成率	-	100%				
全国体力・運動 能力、運動習慣 等調査に基づい た指導・助言 (実施校数)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査に基づき、教育課程を編成して実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立に向けて指導・助言を実施するもの。	データに基づく教育課程の改善により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技テストの向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	145	145	145	145	145
			実績値	146	144				
			達成率	-	99%				
外国語指導助手 (ALT)の適正配 置(人)	本市に配置しているALTの配置人数	ALTが授業に参画できる総時数の増加により、英語力の向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	62	62	64	68	68
			実績値	60	62				
			達成率	-	100%				
浜松RAIN房によ る理科・ものづく りに関する学校 への出前授業の 実施(回)	浜松RAIN房による学校への出前授業を実施した講座数	理科やものづくりについて、広く学ぶ機会を提供することにより、子供が自分が学びたいことやできるようにになりたいことに挑戦することに寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	35	35	35	35	35
			実績値	33	25				
			達成率	-	71%				
音楽等発表会へ の実施・参加 (実施校数)	音楽発表会、子どもの市展、子ども音楽鑑賞教室への実施・参加	音楽等発表会に参加し、文化芸術に触れたり、多様な専門家に接したりすることで、創造性や表現力をはぐくむことに寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	145	145	145	145	145
			実績値	146	145				
			達成率	-	100%				
三遠南信中学生 交流会に参加し た生徒数(人)	三遠南信交流推進事業で実施する三遠南信中学生交流会に参加した生徒数	飯田市、豊橋市、浜松市3市の中学生が夏休みに1泊2日で交流活動を実施するため、その参加した生徒数を維持することが、三遠南信の3市の交流推進に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	57	57	57	57	57
			実績値	56	56				
			達成率	-	98%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
全国学力・学習 状況調査 小学 校6年生正答率 (本市平均-全国 平均)(pt)	全国学力・学習状況調査における本市正答率と全国正答率を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につながることを見込んでいる。	目標値	-	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持
			実績値	国1.3 算△0.4	国0.2 算±0				
			達成率	-	維持				
全国学力・学習 状況調査 中学 校3年生正答率 (本市平均-全国 平均)(pt)	全国学力・学習状況調査における本市正答率と全国正答率を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につながることを見込んでいる。	目標値	-	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持	全国平均以上の維持
			実績値	国1.9 数3.5	国2.7 数3.7				
			達成率	-	維持				
分からないことや 詳しく知りたいこ とがあったとき に、自分で学び 方を考え、工夫 することができ ていると回答した児 童生徒の割合 (%)	全国学力・学習状況調査における本市数値と全国数値を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につながることを見込んでいる。	目標値	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
			実績値	80.5	80.2				
			達成率	-	99%				
学習した内容に ついて、分かった 点や、よく分から なかった点を見 直し、次の学習 につなげることが できていると回答 した児童生徒の 割合(%)	全国学力・学習状況調査における本市数値と全国数値を比較するもの。	確かな学力の育成に向け、学習指導要領の着実な実施状況を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施につなげていく。	目標値	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
			実績値	80.0	80.2				
			達成率	-	99%				
全国体力・運動 能力、運動習慣 等調査における 小学校5年生の 実技テストの値 の対全国比(pt)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査実技テストにおける本市の値と全国の値を比較するもの。	健やかな心身の育成に向け、体力・運動能力、運動習慣等を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、運動習慣の確立につながることを見込んでいる。	目標値	-	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持
			実績値	男△0.9 女△0.76	男△0.63 女△0.93				
			達成率	-	維持				

※達成率は該年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における中学校2年生の実技テストの値の対全国比(pt)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査実技テストにおける本市の値と全国の値を比較するもの。	健やかな心身の育成に向け、体力・運動能力、運動習慣等を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、運動習慣の確立につながることを見込んでいる。	目標値	-	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持	全国平均並みの維持
			実績値	男0.65 女1.18	男0.07 女1.53				
			達成率	-	維持				
中学に進んだら授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持たせたいと回答した小学校5年生の割合(%)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査実技テストにおける本市の値と全国の値を比較するもの。	健やかな心身の育成に向け、体力・運動能力、運動習慣等を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、運動習慣の確立につながることを見込んでいる。	目標値	-	維持	維持	維持	維持	維持
			実績値	男89.7 女82.4	男86.9 女79.5				
			達成率	-	維持				
中学・高校を卒業したら自主的に運動やスポーツをする時間を持たせたいと回答した中学校2年生の割合(%)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査実技テストにおける本市の値と全国の値を比較するもの。	健やかな心身の育成に向け、体力・運動能力、運動習慣等を把握するものとして設定。全国との比較を測る指標であり、運動習慣の確立につながることを見込んでいる。	目標値	-	維持	維持	維持	維持	維持
			実績値	男89.6 女77.0	男88.0 女75.3				
			達成率	-	維持				
CEFR/A1レベルの生徒の割合(%)	英語教育実施状況調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる生徒の割合	外国語教育の充実に向けて英語力を把握するものとして設定。教員とALTとの連携した授業の推進などにより英語力の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	55.0	55.0	60.0	60%以上を維持	60%以上を維持
			実績値	52.3	54.0				
			達成率	-	98%				
言葉や文化が異なる人や大人を含む年齢が異なる人との交流は楽しみであると回答した児童生徒の割合(%)	教育委員会調査における肯定的な回答の割合を調査するもの。	グローバル人材の育成に向けてこどもの意識を把握するものとして設定。教員とALTとの連携した授業の推進などにより外国語教育の充実につながることを見込んでいる。	目標値	-	80.0	81.0	83.0	84.0	85.0
			実績値	78.9	2026年8月確定				
			達成率	-	-				
理科の授業で学習したことは、将来、役に立つと思うと回答した児童の割合(%)	全国学力・学習状況調査における肯定的な回答の割合を調査するもの。 ※3年に1回の調査	理科やものづくりについて、広く学ぶ機会を提供することにより、子供が理科の学びと実生活を実感し、自分が学びたいことやできるようにしたいことに挑戦することに寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	80.0	-	-	80.0	-
			実績値	前回調査 78.3	80.3				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
理科の授業で学習したことは、将来、役に立つと思うと回答した生徒の割合(%)	全国学力・学習状況調査における肯定的な回答の割合を調査するもの。 ※3年に1回の調査	理科やものづくりについて、広く学ぶ機会を提供することにより、子供が理科の学びと実生活を実感し、自分が学びたいことやできるようになりたいことに挑戦することに寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	65.0	-	-	65.0	-
			実績値	前回調査 64.8	68.0				
			達成率	-	100%				
教育活動において、体系的継続的に体験活動を実施し、教育目標を達成していると認識している学校の割合(%)	教育委員会調査における肯定的な回答の割合を調査するもの。	豊かな心の育成に向け、体験活動を通した教育目標達成の認識を把握するものとして設定。体験活動の効果検証や改善に向けた支援により、体験活動の質的向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			実績値	95.2	2026年 8月確定				
			達成率	-	-				
地域や社会をより良くするために何かしてみたいと思う生徒の割合(%)	全国学力・学習状況調査における本市数値と全国数値を比較するもの。	持続可能な社会・地域の形成に参画する態度の育成のため設定。全国との比較を測る指標であり、地域社会への参画意識の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	82.0	82.5	83.0	83.5	84.0
			実績値	81.5	82.7				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切にし、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
教育研究・指導事業	全国学力・学習状況調査の結果を分析し、各学校向けに結果や授業改善の方向性をまとめた資料を作成、配付した。 また、授業改善の方向性については、研修主任を対象とした研修会を実施し、101人が参加した。 全国体力・運動能力、運動習慣等調査についても、各学校の体力向上の取組につなげられるよう、結果を分析した資料を作成し、配付を行った。	引き続き各調査の結果を分析し、授業改善や各校の取組の推進につなげられるよう、事業を行っていく。
生きた英語力育成事業	1 外国語指導助手(ALT)の配置 教員とALTが連携した授業の推進につなげるため、教員とALTの連携研修を実施し、143人が参加した。また、英語のやり取りの力を向上させることができるよう、英語授業における生成AI活用に関する実証研究を3小中学校で実施した。	引き続きALTの配置による効果検証を実施していくとともに、生成AIを活用した授業改善について、実証研究を進めていく。
理科・ものづくり教育支援事業	1 「浜松RAIN房」への負担金交付 子供が理科の学びと実生活を実感し、自分が学びたいことやできるようになりたいことへ挑戦することを寄与できるよう、浜松RAIN房による学校への出前授業を実施し、理科やものづくりについて、広く学ぶ機会を提供した。	学校の希望により、出前授業を実施することができるよう、取組を継続していく。
音楽等発表会開催事業	1 音楽発表会事業 2 浜松市子どもの市展 3 子ども音楽鑑賞教室 市内の市立小中学校の全校が、子どもの市展、子ども音楽鑑賞教室などの事業への参加や音楽発表会を実施した。	各学校の取組を支援することができるよう、学校の希望を考慮しながら、事業を継続していく。
三遠南信交流推進事業	1 三遠南信中学生交流事業 飯田市、豊橋市、浜松市3市が協力して、中学生交流会を豊橋市で開催した。浜松市からは、56人(3市の計136人)の生徒が参加してグループでの交流や意見交換などを行った。	引き続き三遠南信3市の交流推進に寄与することができるよう、事業を継続していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(理科の授業で学習したことは、将来、役に立つと思うと回答した児童の割合) 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問調査結果を指標としているが、指標となる質問事項の記載に誤りがあったため、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合」に修正する。なお、数値等の指標の内容については修正なし。 (理科の授業で学習したことは、将来、役に立つと思うと回答した生徒の割合) 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問調査結果を指標としているが、指標となる質問事項の記載に誤りがあったため、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した生徒の割合」に修正する。なお、数値等の指標の内容については修正なし。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進などに取り組み、指標の進捗も概ね順調であった。今後は、学習指導要領の改訂が行われる予定であるため、国による議論の方向性を踏まえながら、事業を推進していく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		市立高校
	02	02	01	01	05	

政策
未来の創り手に求められる力の育成

政策の内容

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や教育課程の計画的・組織的な推進など、学習指導要領の着実な実施に取り組みます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
「生きる力」の 習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。	3.04	3.02				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するため、タブレット型端末を効果的に活用した学習指導や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善など、新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領の着実な実施が求められている。
- ・こどもたちの豊かな心を育成するため、多様性に対する理解と自分や他人の人権を尊重する態度を育む「人権教育」をはじめ、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育む「道徳教育」や「文化芸術教育」の充実などに取り組む必要がある。
- ・こどもたちの健やかな心身を育成するため、運動やスポーツを「する、見る、知る」機会の提供を通じた運動習慣の確立や基本的な生活習慣の確立などに取り組む必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	17,562				
決算	14,998				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	72.7				
会計年度任用職員	3.3				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
市立高校教育事業	1 社会の発展に貢献できる人材の育成 情報モラル研修を実施し、生徒指導の充実を図る。 GIGAスクール構想の実現に向けたICT機器を活用した授業改善を図る。 新学習指導要領実施に対応した学力保証、環境整備を行う。 広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成を行う。 キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現を図る。 安心・安全な教育環境の整備を行う。 教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善を図る。	17,562
		14,998

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
「浜市ふるさと講座」の実施 (回)	地域社会や行政に対する理解を深める講座を行うもの。	地域社会や行政に対する理解を深めることにより、地域の形成に参画する態度の育成に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	1	1	1	1	1
			実績値	1	1				
			達成率	-	100%				
浜松市への政策提言活動の実施 (回)	地域課題等について探究を行い、市政に対して提言を行うもの。	地域課題の探究活動により、地域の形成に参画する態度の育成に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	1	1	1	1	1
			実績値	1	1				
			達成率	-	100%				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
地域や社会をより良くするために何かしてみたいと思う生徒の割合 (%)	教育委員会調査において肯定的な回答をした生徒の割合 (高校生は2025年度から調査開始)	郷土愛や職業観の醸成に向け、生徒の意識を把握するものとして設定。持続可能な社会や地域の形成につながることを見込んでいる。	目標値	-	83.8	84.1	84.4	84.7	85.0
			実績値	-	2026年 8月確定				
			達成率	-	-				
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
市立高校教育事業	1 社会の発展に貢献できる人材の育成 ICTの活用促進に伴い、情報モラルの重要性も増していることから、研修会を開催し、生徒指導の充実を図った。 ICT機器を活用した授業改善のため、GIGAスクール推進委員会を開催し、改善に向けた意見交換や情報の共有化を図った。 新学習指導要領を踏まえた生徒の学びを保障するための授業改善や教職員の資質能力・組織力の向上を図るため、研修を行うなど充実を図った。 政策提言について総合探究授業を実施するとともに、市議会議員との座談会を開催し、社会に貢献できるリーダーとして育成を図った。 キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現を図るため、大学模擬授業を実施した。	新学習指導要領に対応した学力保障や授業改善に向けた教職員研修の充実を図る。 高校の教育事業を維持していくための運営経費、資源等を確保する。 情報モラル教育の徹底や成年年齢引き下げに伴う生徒への指導の実施を継続する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否
----------	---

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

事業及び指標の進捗は順調であった。新学習指導要領を踏まえた生徒の学びの保障のための授業改善については、校内GIGAスクール推進委員会を中心に他校での先進事例やICT機器等の情報共有を図ることで授業改善に対する意識づけが促進することができた。

社会の発展に貢献できる人材の育成に向けて、引き続きキャリア教育の充実と高い志を持った進路実現を図る。